

対策による効果

ハード・ソフト
対策の連携、広域性

地域社会への
インパクト

他分野との連携

対策による評価

意識の変化

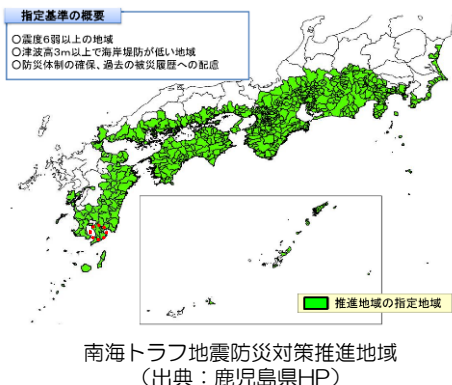
⑮小・中学校と連携した津波避難訓練の実施

【鹿児島県 肝属中部農業水利事業所】

- 災害時に施設用地を一時避難所として受け入れる協定書を小学校と締結。
- 協定締結を契機に、毎年津波を想定した防災訓練を実施。

地域概要

- 肝属中部地区は、鹿児島県大隅半島の中南部に位置しており、南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されている。



対策の内容・結果

【小学校・中学校と連携した津波避難訓練を実施】

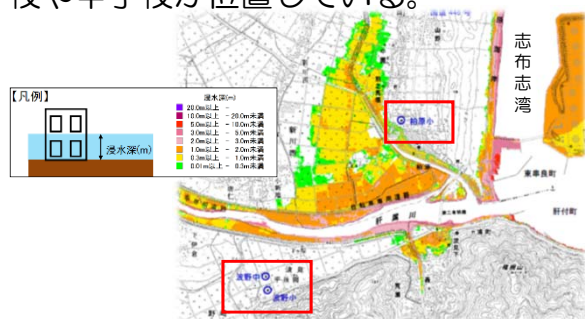
- 平成24年7月に肝属中部農業水利事業所と小学校が津波などの災害時に施設用地を一時避難所として児童を受け入れる協定書を締結。
- その一環として、毎年巨大津波を想定した避難訓練を協定先の小学校で実施（平成27年からは中学校も含め合同で実施。生徒数は計96名）
- 毎年実施した後の講評をもとに、次年度の避難訓練を絶えず改善している。

- 生徒の防災意識が高まる中、集落の津波避難訓練も始まる。
- また、生徒への指導によって、家庭内での津波避難の話合いが持たれるようになった。

対策の背景

大規模地震による津波想定被害

- 最大クラスの津波に対する鹿児島県沿岸域の想定浸水深が公表。
- 浸水が想定される海岸線から約3km地点に小学校や中学校が位置している。



避難訓練の様子 (出典：事業所収集資料より)



避難ルート (出典：事業所収集資料より)